

Title	乳癌集団検診”中間期乳癌”について
Author(s)	藤原, 彰
Citation	癌と人. 12 P.24-P.26
Issue Date	1985-03-31
Text Version	publisher
URL	http://hdl.handle.net/11094/24122
DOI	
rights	

Osaka University Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/repo/ouka/all/>

乳癌集団検診“中間期乳癌”について

藤原 彰*

阪大微研外科では、昭和43年より大阪府下13の都市において、大阪癌研究会と協力して、乳癌集団検診を施行している。昭和59年3月末までの集検の成績を表1に示す。集検発見乳癌患者数は106名である。これを発見時期別に見てみると、

1. 初めての集検にて発見された、初検癌：72名。
2. 集検をくりかえし受け、集検時に発見された再検癌：15名。
3. 集検後、独自に乳房の異常に気が付き、微研外科外来を受診し発見された、中間期癌：19名。

以上のようになる。今回3.の中間期癌とその特徴に関し話しをしてみたい。

中間期癌：Interval Breast Cancer, は近年アメリカにて注目されているとらえかたである。アメリカの集検は主に、乳房撮影（マンモグラフィ）を第1次の検査として、毎年又は隔年検診が施行されている。中間期癌は、マンモグラフィに異常所見が前回までなく、その後次回検診以前に、患者自身が乳房異常に気が付き、発見された乳癌と定義されている。決して集検時の見落としではない。中間期癌が注目

表1 乳癌集検成績表

延受診者数	73488	
実受診者数	44835	
要精検者数	3022	初 検 2171 再 検 851
実精検者数	2800	(精検受診率 92.7%)
癌患者数	106	対延受診者 0.14% 対実受診者 0.24%
1. 初 検	72	対初検者 0.16%
2. 再 検	15	対再検者 0.05%
3. 中間期	19	

(S. 43.9.~S. 59.3. 阪大微研外科)

されたのは、その発見時期が特異的というだけではなく、生物学的悪性度が高い、すなわち、予後が悪いのではないかということで注目されて来ている。

我々の経験した中間期癌18名を検試してみると、特徴としては以下のことが言える。

1. 手術時すでにリンパ節転移陽性例が多い。
2. 早期再発率が高く、死亡率が高い。
3. 一般乳癌患者より、若年者に多い。

1~3に関し実際のデータを表2~表4に示す。表2、中間期癌では11/18名(61%)がリンパ節転移陽性であり初・再検癌の23/71名(32%)に比し高率となっている。表3、初・再検癌の再発、及び再発死亡が各々、8/76名(10.5%)、6/76(7.9%)であるのに対し、中間期癌では4

表2 集検発見乳癌リンパ節転移

	リンパ節 転 移 ⊖	リンパ節 転 移 ⊕	計
総 乳 癌	55 (62%)	34 (38%)	89
初・再検癌	48 (68%)	23 (32%)	71
中 間 期 癌	7 (39%)	11 (61%)	18

表3 集検発見乳癌の再発死亡例

(S. 58年末で予後の確認出来た94例の検討)

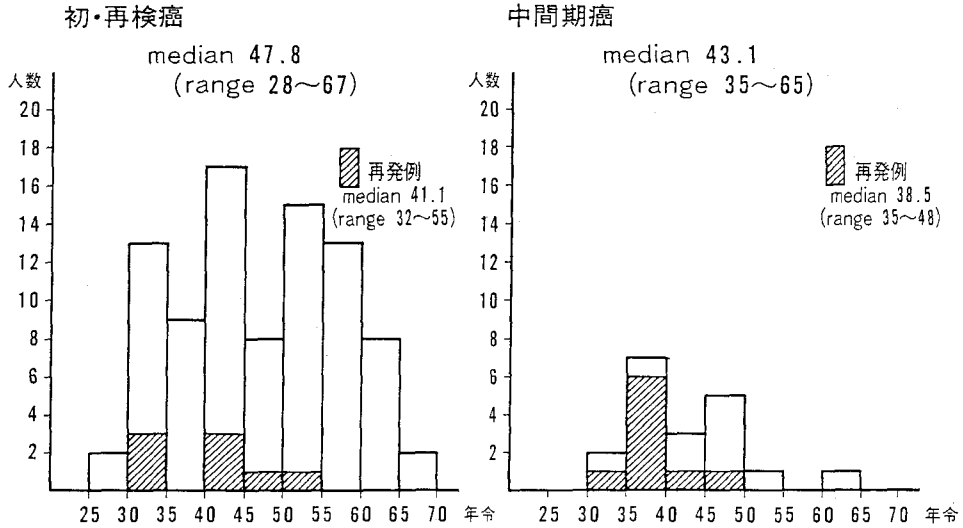
	総 数	再 発 (%)	死 亡 (%)
総 乳 癌	94	16 (17.0)	15 (16.0)
初・再 検 癌	76	8 (10.5)	6 (7.9)
中 間 期 癌	18	8 (44.4)	6 (33.3)

死 因

癌 死 12
他 病 死 1
手 術 (-) 2

* 微生物病研究所付属病院外科

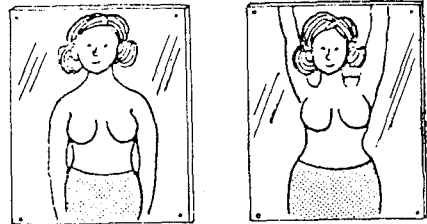
表4 集検発見乳癌の年齢構成



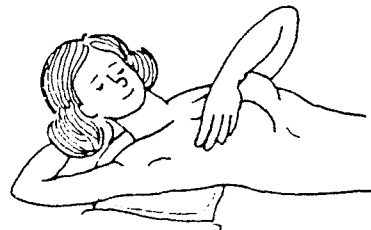
倍以上の高率となり、再発8/18名(44.4%)、再発死亡6/18名(33.3%)となっている。表4、中間期癌では患者の平均年齢が43.1才、その内の再発例だけでは38.5才と初・再検癌の例に比し3~4才若くなっている。

この様に初・再検癌に比し中間期癌が生物学的悪性度が高いことがおわかりになると思う。では、どうすれば出来るだけ早く中間期癌が発見出来るか。それには自己乳房検診を頻回に実施するしかない。乳癌は自分自身で発見出来る癌であることをお忘れなく。

最後に日本対ガン協会のパンフレット乳ガンの自己検査法から、自分で検査する方法を引用させていただきましたので利用していただきたいと思います。



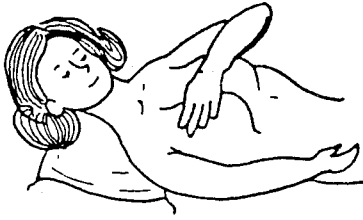
3. あおむけにねて、右の乳房を調べるときは右肩の下に座布団か薄い枕を敷き、乳房が垂れず胸の上に平均に広がるようにします。
4. 乳房の内側半分を調べるには、右腕を頭の後方にあげ、左手の指の腹で、外側から内側へ、上から下へ、静かに軽く圧迫しながら触れてみます。



***自分で検査する方法**

1. まず両腕を下げたまま、左右の乳房を鏡に写して見て、自分の乳房の形、乳首の姿などをよく覚えておきましょう。
2. 両腕を上げて正面・側面・斜めを写して見て、次のことを調べます。
 - A 乳房のどこかにくぼみやひきつれたところはなにか。
 - B 乳房がへこんだり、湿疹のようなただれができていないか。

5. 外側半分を調べるには、右腕を自然の位置に下げ、左手の指の腹で乳首の内側から外側へ、下から上へ触れて、最後にわきの下にも触れてみます。



6. 乳房を指先でつまむようにして調べると、異常がなくてもシコリのように感じますから、

必ず指の腹で探して下さい。

7. 右の乳房の検査が終わったら、次に左の乳房を同じ要領で 査しましょう。
8. 左右の乳首を軽くつまみ乳をしぼり出すようにして、血のような異常な液が出ないかを調べます。
9. 月1回の自己検査で少しでも異常をみつけたら、ためらわず外科医の診察を受けて下さい。(乳房を診てくれるのは婦人科医ではなく外科医の先生です)

